

Title: I'm here!



清水 香奈江
長い長い学生生活最後の一大イベントです。色々な世界を見てみたいです。

● 最近のエントリー

- ☞ [untitled](#)
(2011.08.24)
- ☞ [中国備忘録～フフフォト・草原編～](#)
(2011.08.23)
- ☞ [中国備忘録～内モンゴル・フフフォト～](#)
(2011.08.23)

● アーカイブ

- ☞ [2012年03月](#)
- ☞ [2011年11月](#)
- ☞ [2011年10月](#)
- ☞ [2011年09月](#)
- ☞ [2011年08月](#)
- ☞ [2011年07月](#)
- ☞ [2011年06月](#)
- ☞ [2011年05月](#)
- ☞ [2011年04月](#)
- ☞ [2011年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

I'm here! > 2011年08月 アーカイブ

11.08.24

untitled

[Tweet](#)

[Check](#)

カテゴリ:

post by 清水 香奈江 | 日時: 2011.08.24 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

I'm here! > 2011年08月 アーカイブ

11.08.23

中国備忘録～フフフォト・草原編～

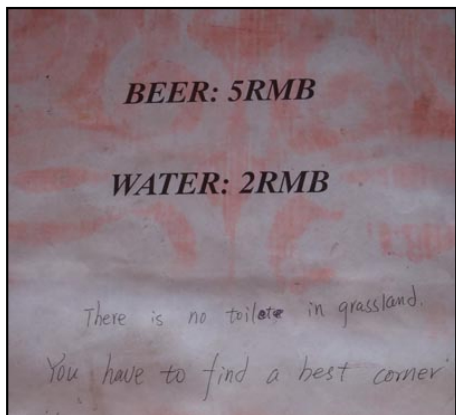
[Tweet](#)

[Check](#)



砂漠に続き、死ぬまでに一度は行ってみたい場所、草原に行ってきました。フフフォトから車で2時間ほど。シラムレン草原の一角にその場所があります。

私を待ち受けていたもの。
宿泊先のバオのテーブルの上に貼ってあった一枚の紙。



for yourself. But Do Not find
it around these houses.

なんと！！

去年の小笠原合宿に引き続き、人生二度目の青空トイレ。
なんとまあ。



こちらが雷泊先のバオ。



電気もついています。



チンギス・ハーンの自画像。



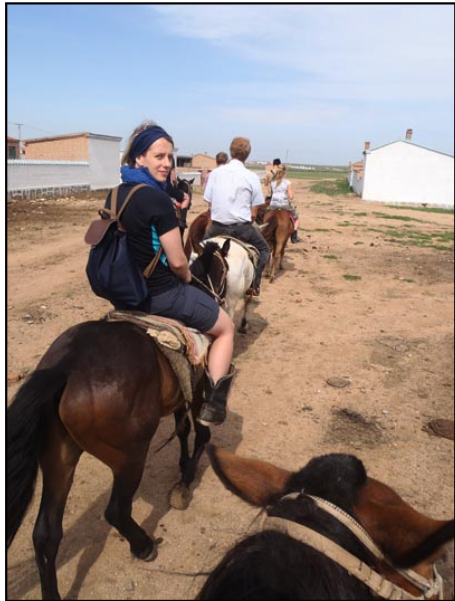
バオについて一休みの一行。
バオの中では雑魚寝です。





同じシラムレン草原に行った原さんとは大違いのほんと、何も無い場所。
最初ゲストハウスのお姉さんに「4、5泊くらいしたい」といったときに、「ほんとに????」と目を丸くして言われた意味が分かる気がするほど周りは一面、草。草。草。
トイレも、シャワーも、水道もなくて。観光用なのか観光用じゃないのか……、完全に下宿状態でした。
でもまあ、それもまた良し。
滅多にこんな不自由な生活はしないですがらね。
ある意味想像してた草原ではある。
うん、悪くないぞ。

草原ツアーにはたいていオプションで乗馬がついているんですが、たいして乗る気もなかったけど、散歩以外やることがないのでせっかくだから乗ることに。
乗馬をするために、車で数十分先の観光用バオがある一帯に移動。



面白いかって？
うーん、騎乗と草原を駆け抜けられればきっと楽しい。
でもそんなスキルはなく……。



宿に眠ってから、夜のキャンプファイヤー用の燃料になる羊の糞を拾います。
乾燥してる糞はよく燃えるんだとか。
ガイドさんは手際よく拾って行きます。

慣れない手つきで我々も参加。





この子たちの糞が燃料に。



どっさり。

夕飯までの間、みんなでサッカーをすることに。
 参加したのはガイドさん（中国）、ドイツ人のお姉さん、アメリカ人の親子（高校生の娘さんとお父さん）、そして日本人の私。
 「日本には負けないぞ！（笑いながら、です）」のガイドさんの一言からわが日本代表になった私。
 ちょうどなでしこジャパンの決勝があったばかりなのでみなさんもプレイに熱が入ってしまったのでしょうか？
 私が蹴ったボールをアメリカ人の女の子が取れなかった時、
 「アメリカは前にも負けたから・・・」とぼそっと言ったのを私は忘れません。
 運動音痴な私ですが、なでしこジャパンの名に恥じることないプレイをすることができたように思います。
 あっばね！！

夕食後のキャンプファイヤーはとにかく楽しかったです。
 でも、星がものすごくきれいだった。
 あんなに沢山の星は生まれて初めて見ました。

2日目。
 とにかくここでは散歩しかやることがないのでカメラを持って散歩。





ドイツ人のお姉さんと。



ガイドさんと。

うしろに写ってるのは、何もない草原の中で目印のためにたてられた物だそうです。こだけじゃなくて、いろんなところにあります。この周りを回りながら、幸運を願うとか。



昼前、一緒に来たツアーの人たちは一足先にフフホト市内に帰ってきました。それと入れ違いに、日帰りツアーの人がやってきました。その人たちが乗馬をしに行くということで、私もまた同行することになりました。乗馬をした場所にもう一度行きたかったのです。みんなが乗ってる間、ふらふらと歌唄。

明らかに観光地化されたバオの一角に水道を発見！！



1日ぶりに手を洗いました。ずっきり。

乗馬も終わりツアーの人が帰って、またひとりぼっちになりました。夕方、ガイドさんと散歩。ガイドさんはとても愉快な人で喋りやすく、英語で冗談も言えるほどに。彼は大学で英語を専攻してたらしくべらべらだったけど、それでもやはり母国語ではないのであまり難しい単語は使いません。それが話しやすかったポイントなんじゃないかな。「あなたの英語はわかりやすい」と言われて嬉しかったのもあるんですけど（笑）

昨日の夜もキャンプファイヤーをしたから今日はしない予定だったけど、昨日出し忘れたラム肉があるからと今日もキャンプファイヤーをすることに。スピーカーで音楽をかけながら、ちょっとだけアルコールもいただき、昨日よりものんびりしたキャンプファイヤーでした。星を見て、たまにぼつぼつ言葉を交わし、とても心地の良い夜でした。





3日目。



朝ご飯を食べてからまた散歩。

「今日は何時に帰るんですか？」とガイドさんに聞いたら、
「あなたしかいないから、いつでもいいよ」とのこと。

いつ迎えが来るのかな々と思っていたけど、いっこうに迎えらしき車は来ず。

「どうやって帰るんですか？」と聞くと、
「おじさんがバス停まで送ってくれるから！」とのこと。

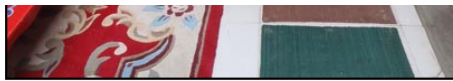
なるほどね。
だからいつでもいいのか・・・。
ははーん。

でことで、フフホトまでガイドさんとバスで帰ることに。



「すぐバス来るから！」と言われてから1時間。
来たバスに乗り込み無事フフホトに帰ることができました。





いろいろお世話になったゲストハウスのお姉さんと記念撮影をし、
はたはたと空港に移動。

西安へと向かったのです。

次はぜひ、モンゴルのお祭りとかも見たい(笑)
でも、青空トイレが案外平気です！

では。

post by 清水 香那江 | 日時: 2011.08.23 | [ホームリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[I'm here!](#) > 2011年08月 アーカイブ

中国備忘録～内モンゴル・フフホト～

[Tweet](#)

[Check](#)

ブロガーにはなれないなぁと思う今日この頃。
旅行はもう8月終了。FV終了まで1ヶ月を切りました！！
でもまだまだブログは中国だよ！！コンニチハ、清水です。

上海のあと、内モンゴルのフフホトという町にやってきました。
目当ては草原。
本当はすぐにでも草原に行きたかったのだけど、日程の関係で数日フフホト市内に泊まる
ことに。
せっかくなので、万里の長城ツアーに参加してきました。

万里の長城といえば北京。
私もその参訪れたことがあります。
幼い頃だったのでうる覚えだけど、どこまでも続いてたような記憶があります。
そんな万里の長城はもちろん、北京以外でもその姿を見ることができます。



フフホト市内から車に揺られること約2時間。
高速の料金所のようなところに車を停めて約1時間強のハイキングの後たどり着いたのが
ここ。



北京郊外で見られる万里の長城は随分と原型をとどめていて、それが過去の物であるという
ことを感じにくいのですが
荒涼とした場所に建つこの遺跡は、北京のそれよりもより過去を想像させられる気がしま
した。

どれだけの馬や兵士が奔り越えようとして破れたのか。
歴史に疎い私でも、時間の流れを感じることができる場所でした。

そんな場所でランチタイム。
なんてアメリカン！なくらいおおざっぱなサンドイッチです。
デザートは大好物のスイカ。



ゲストハウスのツアーだったのでなんともんびりとしていて楽しかったです。

宿に帰ったら、ゲストハウスがある場所一帯が停電に・・・。
4時間近く停電してました。

宿の人がろうそくを用意してくれたのですが、どこにたてようか迷っていたら、
同室のドイツ人の女の人が「ここがいいわ！」と横に写ってるサボテンの鉢に挿した時
にはその大胆さに驚きました。
確かに安定はしてるけど！



サボテンが燃えそうだったので、ロウを垂らしててました。

中国備忘録。次は草原編。

カテゴリー：
post by 清水 香奈江 | 日時: 2011.08.23 | [バナーリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)